

LAMPIRAN DATA

1. お父さん：ちょっといてみない。向こうへ抜けられるんだ。
千尋：ここいやだ。戻ろうお父さん。
お父さん：なんだ。こわがりだな千尋は。ねっちょっとだけ。
お母さん：引越しセンターのトラックが来ちゃうねよ。
お父さん：平気だよ。かぎはわたしてあるし。全部やってくれるんだろう。
お母さん：そりゃそうだけど。
千尋：いやだ。私行かないよ。戻ろうよお父さん。
00.04.04
2. お父さん：川を作ろうとしたんだね。なんかにおわない。ほらうま
そうなおいがある。
お母さん：あらほんとね。
お父さん：まだやってるのかもしれないよここ。
お母さん：千尋、早くしなさい。
千尋：待って。
00.07.09
3. お母さん：わあ、すごいわね。
お父さん：すいません。どなたがいませんか。
お母さん：千尋もおいでおいしそうよ。
千尋：.....
お父さん：すいません。
お母さん：いいわよ。そのうち来たらお金払えばいいんだから。
お父さん：そうだな。そっちにいいやつか。
00.08.45
4. ハク：ハッ...ここへ来てはいけない。すぐ戻れ。
千尋：えっ。
ハク：じきに夜になる、その前に早く戻れ。もう明かりが入った。
急いで。私が時間をかせぐ、川の向こうへ走れ。
千尋：なによあいつ。
00.11.24
5. ハク：感づかれたな。
千尋：ごめん。私息しちゃった。
ハク：いや。千尋はよくがんばった。これからどうするが話からよくお聞き。ここにいては必ず見つかる。私がいってごまかすから。そのすきに千尋はここを抜け出して。

千尋：いや。行かないで。ここにいておねがい。

00.18.44

6. ハク：この世界で生きのびるためにはそうするしかないんだ。ご両親をたすけるためにも。

千尋：やっぱり豚になったの。夢じゃないんだ。

ハク：ちっとして。さわぎがしずまったら、うちのくぐり戸から出られる。外のかいだんを一番下まで降りるんだ。そこにボイラー室の入り口がある火をたく所だ。中にカマジイという人がいるから、カマジイに会うんだ。

千尋：カマジイ。

00.19.24

7. ハク：その人にここで働きたいって頼むんだ。ことわられてもねばるんだよ。ここでは仕事を持ってない者は湯バーバに動物にされてしまう。

千尋：湯バーバって。

00.19.35

8. ハク：会えばすぐわかる。ここをしはいしているほじよだ。いやだとか帰りたいとか言わせるようにしむけてくるけど、働きたいってだけ言うんだ。つらくてもたえてきかいを待つんだよそうすれば湯バーバも手が出背ない。

千尋：うん。

00.19.48

9. リン：人間がいるじゃん。やばいよ。さっき上で大きわざしてたんだよ。

カマジイ：わしの孫だ。

リン：孫？

カマジイ：働きたい言うんだが、ここは手が足りとる。おめえ、湯バーバのそこへ連れてってくれねえか。あとは自分でやるだろう。

リン：やなこった！あたいが殺されちまうよ。

カマジイ：これでどうだ。イモリのクロヤキ上物だぞ。どの道働くには、湯バーバとけいやくせにゃならん。自分で行って運をためしな。

00.29.14

10. 父役：ん。リン。

リン：はい。

父役：なんかにおわぬか。人間だ、お前人間くさいぞ。

リン：そうですか。

父役 : におうにおううまそうなにおいだ。お前なんかかくしておるな。
しょうしきにもうせ。
リン : このにおいでしよう。
父役 : クロヤキ。くれー。
リン : やなこった。お姉さん様方にたのまれてんだよ。
父役 : たのむ。ちょっとだけ。せめて足一本。
リン : 上へ行くお客様。レバーを引き下さい。

00.32.47

11. ハク : お呼びですか。
 バーバ : 今からその子が働くよ。世話おしな。
 ハク : はい。名はなんという。
 千 : ええ。ち...あつ。千です。
 ハク : では千来なさい。

00.40.42

12. 千 : リンさん、あの....
 リン : 何?
 千 : ここにハクって言う人、二人いるの。
 リン : 二人?。あんなの二人もいたらたまんないよ。だめか。あいつは湯バーバの手先ながら、気をつけな。
 千 : う.....う。
 リン : おかしいなあ。あーあつた、あつた。あつおいどうしたんだよ。しっかりしるよ。

00.42.52

13. 千 : ハクをどうするの?ひどいけがなの?
 銭一バ : そいつは妹の手先どろぼう竜だよ。私の所から大事なはんこを盗み出した。
 千 : ハクはそんなことするはずない。やさしい人だもん。
 銭一バ : 竜はみんなあやさしよ。やさしくて、おるかだ。魔法の力を手にいれようとして妹の弟字になるなんてね。この若者はよくぶかの妹の言いなりいだ。さあ、そこをどきな。どのみちこの竜は、もうたすからないよ。はんこには守りのまじないが、かけてあるからね。盗んだものが、死ぬようにと。
 千 : いや。だめ。

01.24.26

14. リン : ここから歩け。

千 : うん。
リン : 駅はいけばわかるって。
千 : ありがとう。
リン : 必ず戻ってこいよ。
千 : うん。

01.37.11

01.37.18

15. ハク : おじいさん、千はどこです。何が、あったのでしょうか。教えてください。
カマジイ : お前、何も覚えてないのか。
ハク : きれぎれにしか思い出せません。やみの中で、千尋が何度も私を呼びました。その声をたよりに、もがいて気がついたら、ここにねていました。
カマジイ : そうか、千尋か。あの子は、千尋というのか。いいな愛のかだな。

01.41.48

16. 銭一バ : お前、これがなんだかしってるかい。
千 : いえ、でもとっても大事なものだって。ハクの代わりにあやまりにきました。ごめなさい。
銭一バ : お前、これを持ってて何ともなかったかい。
千 : え?

01.48.40

17. ハク : 千尋、ありがとう。私の本当のなは二ギハヤミコハクヌシだ。
千尋 : 二ギハヤミ?
ハク : 二ギハヤミコハクヌシ。
千尋 : すごい名前、神様みたい。
ハク : 私も思い出した。千尋が私の中に落ちたときのことを。くつを拾おうとしたんだよ。
千尋 : コハクが私をあきせにこんでくれたのね。うれしい。

01.54.25

18. 千尋 : おばあちゃん、ありがとう。あたし行くね。
千尋 : 私の本当の名前は千尋って言うんです。
銭一バ : 千尋。いい名だね。自分の名前を大事にね。
千尋 : はい。

01.52.37

19. 湯バーバ：おのれ。言え。私の坊どこへやった。
ハク　　：銭一バの所です。
湯バーバ：銭一バ。ああ、なるほどね。諸悪女め。それであたしに
勝ったもりかい。

01.44.21

20. ハク：こわがるな。私はそなたのみかただ。
千尋：いや、いや、いや。
ハク：口を開けてこれを早く。この世界のものを食べないとそなた
は消えてしまう。
千尋：いや。↗
ハク：だいじょうぶ。食べても豚にはならない。かんでのみなさい。

00.14.57

21. 千尋：また、どこかであえるか。
ハク：うん、きっと。
千尋：きっとよ。↗
ハク：きっと。

01.58.28

LAMPIRAN KLASIFIKASI DATA

1. Fungsi Aizuchi

1. お父さん：ちょっといてみない。向こうへ抜けられるんだ。
千尋：ここいやだ。戻ろうお父さん。
お父さん：なんだ。こわがりだな千尋は。ねっちょっとだけ。
お母さん：引越しセンターのトラックが来ちゃうねよ。
お父さん：平気だよ。かぎはわたしてあるし。全部やってくれるんだろう。
お母さん：そりゃそうだけど。
千尋：いやだ。私行かないよ。戻ろうよお父さん。
00.04.04

3. お父さん：川を作ろうとしたんだね。なんかにおわない。ほらうま
そうなおいがある。
お母さん：あらほんとね。
お父さん：まだやってるのかもしれないよここ。
お母さん：千尋、早くしなさい。
千尋：待って。
00.07.09

3. お母さん：わあ、すごいわね。
お父さん：すいません。どなたがいませんか。
お母さん：千尋もおいでおいしそうよ。
千尋：.....
お父さん：すいません。
お母さん：いいわよ。そのうち来たらお金払えばいいんだから。
お父さん：そうだな。そっちにいいやつか。
00.08.45

6. ハク：感づかれたな。
千尋：ごめん。私息しちゃった。
ハク：いや。千尋はよくがんばった。これからどうするが話から
よくお聞き。ここにいては必ず見つかる。私がいってごま
かすから。そのすきに千尋はここを抜け出して。
千尋：いや。行かないで。ここにいておねがい。
00.18.44

8. ハク：会えばすぐにわかる。ここをしはいしているほじよだ。いや
だとか帰りたいとか言わせるようにしむけてくるけど、働きた
いってだけ言うんだ。つらくてもたえてきかいを待つんだ
よそうすれば湯バーバも手が出背ない。

千尋：うん。

00.19.48

10. 父役：ん。リン。
リン：はい。
父役：なんかにおわぬか。人間だ、お前人間くさいぞ。
リン：そうですか。
父役：におうにおうまそうなにおいだ。お前なんかかくしておるな。
しょうしきにもうせ。
リン：このにおいでしょう。
父役：クロヤキ。くれー。
リン：やなこった。お姉さん様方にたのまれてんだよ。
父役：たのむ。ちょっとだけ。せめて足一本。
リン：上へ行くお客様。レバーを引き下さい。

00.32.47

12. 千：リンさん、あの....
リン：何?
千：ここにハクって言う人、二人いるの。
リン：二人？。あんなの二人もいたらたまないよ。だめか。あいつは湯バーバの手先ながら、気をつけな。
千：う.....う。
リン：おかしいなあ。あーあった、あった。あっおいどうしたんだよ。しっかりしろよ。

00.42.52

2. Bentuk Aizuchi

6. ハク：この世界で生きのびるためにはそうするしかないんだ。ご両親をたすけるためにも。
千尋：やっぱり豚になったの。夢じゃないんだ。
ハク：ちっとして。さわぎがしずまったら、うちのくぐり戸から出られる。外のかいだんを一番下まで降りるんだ。そこにボイラー室の入り口がある火をたく所だ。中にカマジイという人がいるから、カマジイに会うんだ。
千尋：カマジイ。
7. ハク：その人にここで働きたいって頼むんだ。ことわられてもねばるんだよ。ここでは仕事を持ってない者は湯バーバに動物にされてしまう。
千尋：湯バーバって。

00.19.24

00.19.35

15. ハク : おじいさん、千はどこです。何が、あったのでしょうか。
教えてください。
カマジイ : お前、何も覚えてないのか。
ハク : きれぎれにしか思い出せません。やみの中で、千尋が何
度も私を呼びました。その声をたよりに、もがいて気
がついたら、ここにねていました。
カマジイ : そうか、千尋か。あの子は、千尋というのか。いいな愛
のかだな。

01.41.48

17. ハク : 千尋、ありがとう。私の本当のなは二ギハヤミコハクヌシだ。
千尋 : 二ギハヤミ?
ハク : 二ギハヤミコハクヌシ。
千尋 : すごい名前、神様みたい。
ハク : 私も思い出した。千尋が私の中に落ちたときのことを。くつ
を拾おうとしたんだよ。
千尋 : コハクが私をあきせにこんでくれたのね。うれしい。

01.54.25

16. 銭一バ : お前、これがなんだかしってるかい。
千 : いえ、でもとっても大事なものだって。ハクの代わりにあ
やまりにきました。ごめなさい。
銭一バ : お前、これを持ってて何ともなかったかい。
千 : え?

01.48.40

19. 湯バーバ : おのれ。言え。私の坊どこへやった。
ハク : 銭一バの所です。
湯バーバ : 銭一バ。ああ、なるほどね。諸悪女め。それであたしに
勝ったもりかい。

01.44.21

18. 千尋 : おばあちゃん、ありがとう。あたし行くね。
銭一バ : だいじょうぶ。あんたならやりとげるよ。
千尋 : 私の本当の名前は千尋って言うんです。
銭一バ : 千尋。いい名だね。自分の名前を大事にね。
千尋 : はい。

01.52.37

3. Intonasi Aizuchi

4. ハク : ハッ...ここへ来てはいけない。すぐ戻れ。

千尋：えっ。

ハク：じきに夜になる、その前に早く戻れ。もう明かりが入った。
急いで。私が時間をかせぐ、川の向こうへ走れ。

千尋：なによあいつ。

00.11.24

9. リン：人間がいるじゃん。やばいよ。さっき上で大さわぎしてたんだよ。

カマジイ：わしの孫だ。

リン：孫？

カマジイ：働きたい言うんだが、ここは手が足りとる。おめえ、湯バーバのそこへ連れてってくれねえか。あとは自分でやるだろう。

リン：やなこった！あたいが殺されちまうよ。

カマジイ：これでどうだ。イモリのクロヤキ上物だぞ。どの道働くには、湯バーバとけいやくせにゃならん。自分で行って運をためしな。

00.29.14

11. ハク：お呼びですか。

バーバ：今からその子が働くよ。世話おしな。

ハク：はい。名はなんという。

千：ええ。ち...あつ。千です。

ハク：では千来なさい。

00.40.42

13. 千：ハクをどうするの？ひどいけがなの？

銭一バ：そいつは妹の手先どろぼう竜だよ。私の所から大事なはんこを盗み出した。

千：ハクはそんなことするはずない。やさしい人だもん。

銭一バ：竜はみんなあやさしよ。やさしくて、おるかだ。魔法の力を手にいれようとして妹の弟字になるなんてね。この若者はよくぶかの妹の言いなりいだ。さあ、そこをどきな。どのみちこの竜は、もうたすからないよ。はんこには守りのまじないが、かけてあるからね。盗んだものが、死ぬようにと。

千：いや。だめ。

01.24.26

14. リン：ここから歩け。

千：うん。

リン：駅はいけばわかるって。

千 : ありがとう。
リン : 必ず戻ってこいよ。
千 : うん。

01.37.11
01.37.18

20. ハク : こわがるな。私はそなたのみかただ。
千尋 : いや、いや、いや。
ハク : 口を開けてこれを早く。この世界のものを食べないとそなたは消えてしまう。
千尋 : いや。↗
ハク : だいじょうぶ。食べても豚にはならない。かんでのみなさい。

00.14.57

21. 千尋 : また、どこかであえるか。
ハク : うん、きっと。
千尋 : きっとよ。↗
ハク : きっと。

01.58.28

RIWAYAT HIDUP

Nama Lengkap : Dita Aprina Pelawi
Tempat/Tanggal lahir : Lembang/ 28 April 1987
Agama : Kristen Protestan
Alamat : Jl. Pegadaian Gg. Dencer I No. 4 Lembang 40391
Nama Ayah : Tammat Petrus Pelawi
Nama Ibu : Riahta Agustina Purba

Riwayat Pendidikan

- TK Bhayangkara Lembang (1992-1993)
- SD Negeri Pancasila Lembang (1993-1999)
- SLTP Negeri I Lembang (1999-2002)
- SMA Negeri 06 Bandung (2002-2005)
- Universitas Kristen Maranatha Bandung (2005-2009)